

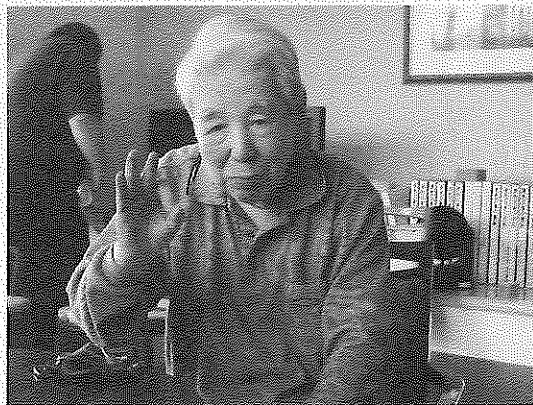
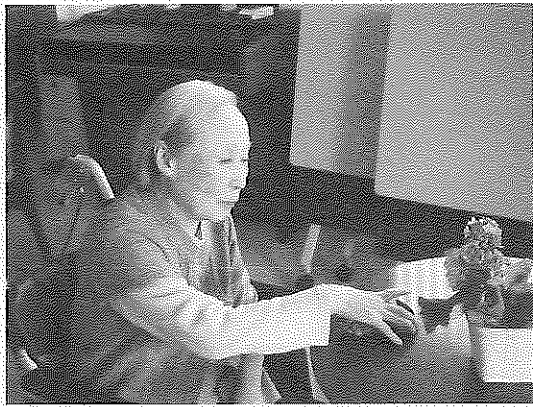
特別養護老人ホーム 第二天神の杜

きずな

- 絆 -

第 46 号

2023年3月31日発行



第二天神の杜 家族の会
特別養護老人ホーム 第二天神の杜

施設行事の活動報告

1月1日(祝)楽しかったお正月

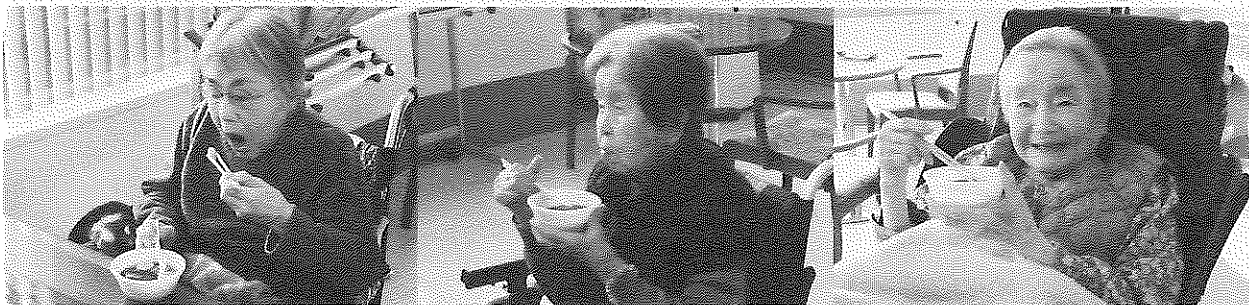
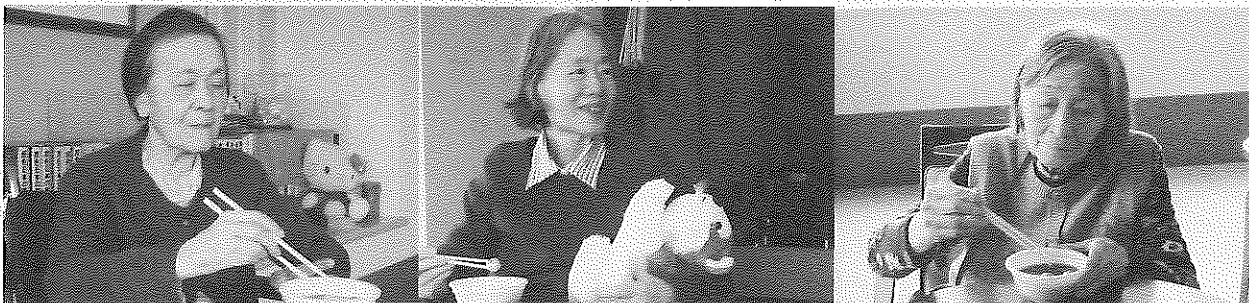
お節料理

各ユニットにお節料理をご用意させていただきました。豪華な料理に、舌鼓を打たれていました。お正月の雰囲気賑やかな声が各ユニットから聞こえてきました。



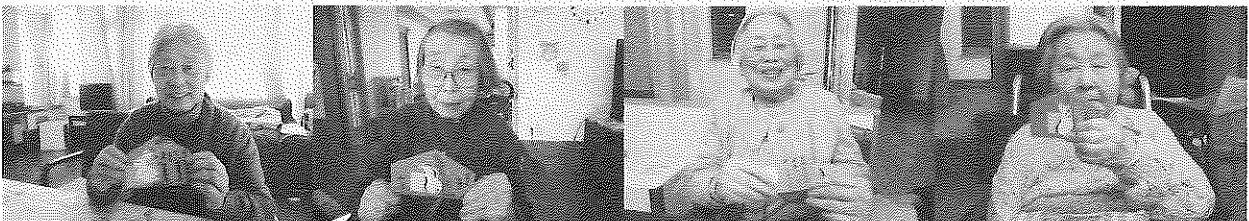
お汁粉

お汁粉を喫茶コーナーでいただきました。「寒い日にはありがたい」「身体の芯から温まります」「甘くて美味しい」「いいお正月です」と笑顔がたくさん見られました。



絵馬

「絵馬」に願いを込めて職員と一緒に作成しました。楽しそうに書かれていました。



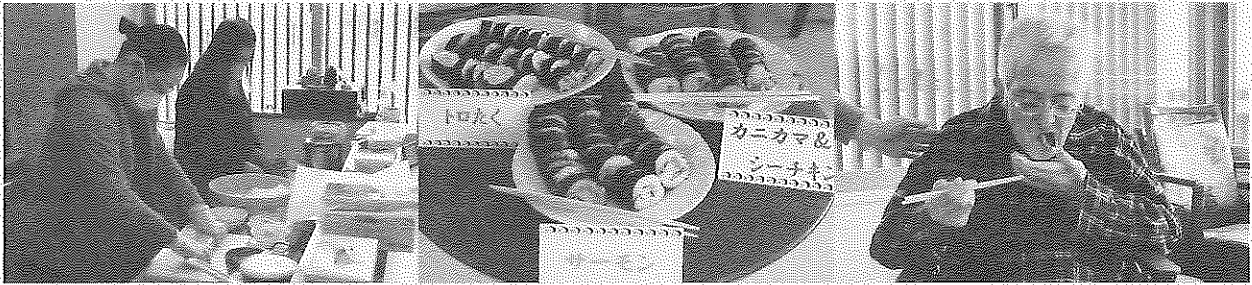
2月3日（金）節分

「鬼は外、福は内！」の元気な掛け声とともに豆をまいて邪気を追い出し、幸せがやってくることを願いました。楽しさの中に真剣な表情が伺えました。



2月8日（水）巻き寿司

「こんな美味しい巻き寿司は久しぶり！」「何個も食べられるよ！」と職員が手作りした巻き寿司を、大きく口を開けて召しあがっておられました。作った職員も大満足です。



2月26日（日）生け花

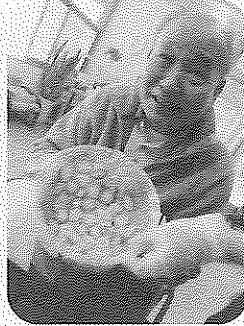
久しぶりの生け花の開催に、お花好きの入居者の方と職員の楽しい声が聞こえてきました。活けたお花は、各ユニットの玄関やリビングに飾られています。



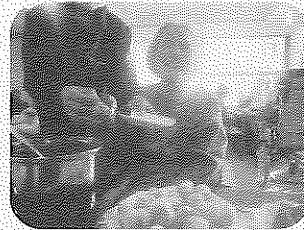
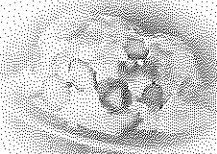
ユ ニ ツ

わかくさ

1月18日 フルーツケーキ作り
フルーツの型抜きをして、食べる
だけでなく作る工程も含めて楽し
みました。

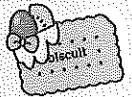


2月12日 バレンタイン企画
色んなお菓子を選んで、チョコをたっ
ぷり付けて召しあがっていただきました。



さわらび

1月8日 お誕生日
1月生まれの方のお祝いをしました。



なでしこ

1月25日 雪の日
窓からの雪景色を見て驚かれていました。



1月と2月のお誕生日
1月 藤井様、竹田様 2月 上田様
ケーキを作り、皆でお祝いしました。



ト 報 告



ききょう

1月17日 出前寿司パーティー
美味しいお寿司で新年会をしました。



はぎ

2月25日 たまにはカップ麺
美味しそうにあっという間にいただきました。



1月 お誕生日 竹内様 安藤様 藤原様
海鮮丼やお好み焼きを美味しくいただきました。

こぐり

2月21日 さつまいも餅、スイートポテト
入居者様に手伝っていただき、美味しくできました。



2月1日 28日 出口様・中下様お誕生日
お誕生日の日にそれぞれお祝いをしました。

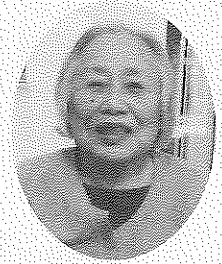


ふれあい広場

このコーナーでは、家族様や入居者様のお話を中心に取り上げています。家族様から寄せていただいたお話をご紹介します。

母への想い

中村 智美



終戦一年前、母（中澤典子）は丹波の田舎に4兄弟姉妹の長女として生まれました。幼いころから、五右衛門風呂の釜に井戸からくみ上げた水を担ぎ入れるような力仕事や、畑仕事、兄弟の世話など、祖母の手伝いをよくする働きもの子どもだったようです。そんな母の自慢話で思い出すのは、「子ども時代、足が速かった」ことと、「イナゴの蹴り足といわれるほど細かった」ということ。背が低くてコロんとした体形しか知らない私たち姉妹には痩せた母がイメージできず、聞くたびに笑っていました。

手先が器用で、私たち姉妹の洋服やセーター、身の回りの細々したものをよく作ってくれました。社交的ではないので家の中で過ごすことが多く、家族の世話をし、物づくりを楽しみ、いつも家で待っていてくれる母でした。ミシンを踏んでいる姿、編み棒をせっせと動かしている姿が今もまぶたに浮かびます。

若い頃は、父の転勤で何度も引っ越しをし、近くに頼れる親戚もいない中でほとんど一人での子育て、52歳で父がガンで亡くなってからの生活。泣いたり、愚痴ったり、落ち込んだ姿を見せない母でしたのでその心細さに思いがいたらず、優しくない娘だったと思います。

毎日、なにげなく過ぎていく中にも、書道、絵画、陶芸、読書、なによりピアノの習い事を楽しんでいましたが、数年前から認知症の症状が加速度を増して進んでいきました。私が想像していたよりもっと早く様々なことが抜け落ち、その過程を目の当たりにするのは精神的に厳しいものでした。

徘徊し、探し廻り、保護されると連絡が入れば迎えに行く。仕事をしながら大変で、キツイ言葉をなげつけてしまうこともあり、その後は自己嫌悪との闘い…。精神的には辛かったけれど、母が少しでも自分の意思を持っていたその頃をもっと大切にすれば良かったと思わずにはいられません。最期まで一緒に暮らすのが親孝行ではないか、見捨ててしまったのではないか、自分が楽をしたいために逃げてしまったのではないかとずっと後悔し続けています。

でも、先日、第二天神の杜のリビングでユニットのみなさんとおやつを食べている姿を見た時、家で一人過ごすことが多かった母が大家族の一員になれたんだな…と、自分の役目が終わってしまった寂しさと共に、嬉しくも感じました。

79歳を目前にして要介護5になり意思疎通が全くできなくなった今も、これからも母が私の心のよりどころであることに変わりはありません。

今後、第二天神の杜入居の皆様が、大切な家族と穏やかな時間を過ごせるようになる日が一日も早くきますように。

スタッフの皆様にご優しく接して頂き、穏やかな日々を過ごせることに感謝しています。

お母さん ありがとう。この思いがどうぞ届きますように…。

年度末、家族の会ご挨拶

会長 福田 竜造

朝晩はまだ冷え込む時があるものの、時折吹く風に春を感じる季節になりました。家族の会、会員の皆様におかれましては日頃から当会運営にご理解とご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

国内で新型コロナウイルス感染症が発生してから今年で4年目に突入しました。3年間という長い間、ガランとして人けのなかった京都や奈良の観光地でもキャリーケースを引きながら歩く国内外の旅行者や観光客を数多く見掛けるようになり、繁華街の飲食店や居酒屋にも多くの人が笑顔で食事やお酒を楽しんでいる姿を見ていると、世の中がコロナ禍前の姿に戻りつつあるのだなと実感致します。

2月23日に定例の家族の会役員会が行われ第二天神の杜より、林常務理事、千葉施設長、田中生活相談員、にもご同席頂いて一年間の家族会の活動内容を振り返っていたのですが「今年度はコロナ感染症流行のため中止」の項目が多く、家族の会役員一同とても情けなく空しい気持ちにさせられました。

しかし、先にも述べましたように少しずつ世の中がコロナ禍前に戻りつつあるように我々第二天神の杜家族の会も少しでも以前のように戻ることは出来ないでしょうか？と林常務理事、千葉施設長、田中生活相談員、に問いかけたところ「次年度はコロナの感染状況と世間の動向を見据えながら工夫を凝らして前向きに検討していきましょう！」と有難い前向きなお言葉を頂きました。介護老人福祉施設というハイリスクな特性上、直ぐに100%戻すと言う訳には行かないと思いますが何も出来なかった過去の3年間ではない前向きな1年にしていきたいと考えております。

このコロナ禍の3年の間に入居者数60名中40名の方が新しく入居されて来られたと伺いました。40名の入居者様とそこご家族様が家族の会の活動の良さや本当の第二天神の杜の良さを感じて頂いていないと思いますので少しでも早く以前の様な活動が再開できるよう家族の会一同尽力致しますので、今後とも家族の会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

家族の会より

3月3日の雛まつりにあわせて、家族の会より「苺」を贈呈していただきました。

「甘～い！」「美味しい！」と明るい声と笑顔が多く見られました。



施設から

1月13日(金) 第三者評価受診

第三者評価機関として京都府認知症グループホーム協議会から3名の方が来設されました。

施設内の委員会や各種会議はPDCAサイクルで、それぞれ組織として機能していることや研修の実施体制や実習生の受入れ体制等を確認され、ケアサービスの質の向上につながっているとの高い評価をいただきました。

2月10日(金) 社会福祉施設指導監査

京都府乙訓保健所の職員2名の方が来設され、法人運営・施設運営及び入居者の処遇等について、事前の提出資料に基づき関係資料のチェックや担当者への聞き取りが実施されました。監査終了後の講評では、特に改善等を要する指摘事項はありませんとのことでした。

2月17日(金) 「花ボランティアの輪」

長岡第四中学校の皆様が来設されました。

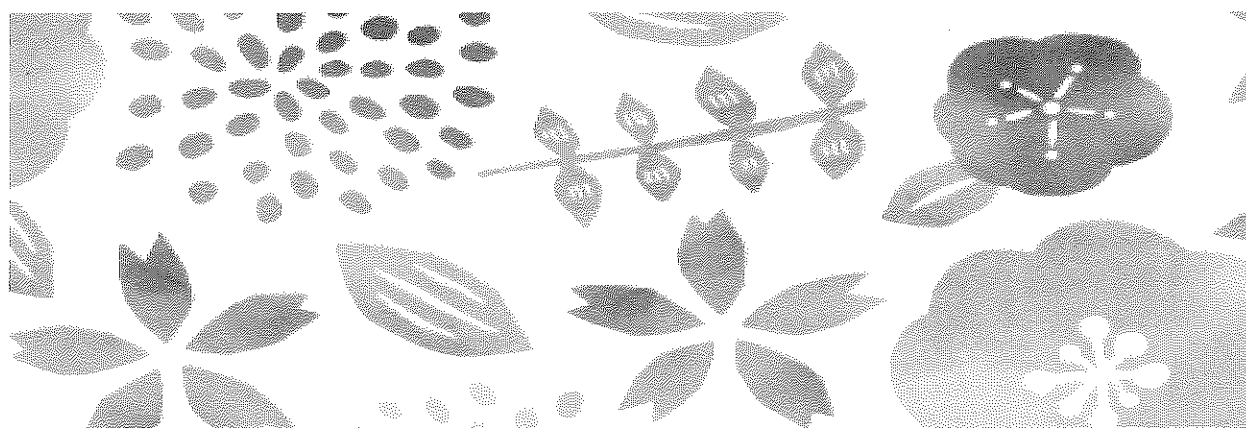
平成28年度より赤い羽根共同募金プロジェクトとして「花ボランティアの輪」の活動をされています。この活動を通じて共同募金のしくみを学ぶ取り組みです。

また生徒たちは「たすけあい」や「地域でのつながり」の学びをいかして、手書きのリーフレットを作成し、自分たちの取組みを伝えに各事業所へ訪問されています。



3月30日(木) 消防訓練

夜間想定 of 消防訓練を実施しました。通報、消火、避難誘導の訓練をすることで、火災発生時に迅速かつ的確な活動につなげていきます。この訓練を通して一連の動作を繰り返し、身体に覚えさせておくことの大切さを再確認しました。



社会福祉法人 長岡京せいしん会 住所 〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺竹ノ下19番地
特別養護老人ホーム第二天神の杜 Tel (075) 959-1220 (代表) Fax (075) 957-2112

ホームページアドレス <http://www.tenjin-no-mori.or.jp>

[掲載する内容、写真に関しては、あらかじめ家族様より許諾を得て掲載させていただいております。]